

倉庫業の棚卸代行を提案

小売業を中心に棚卸代行業で実績を持つアセットインベントリー（洞定治社長）では、倉庫業への棚卸代行業を提案している。

物流の現場においては、データの管理は荷主、実際の倉庫内作業は物流事業者が行う場合が多く、“情物一致”が難しい状況がある。また、近年の合理化要請の高まりに伴い、手間のかかる実地棚卸を行う要員や時間を確保できないなどの問題を抱えた現場も少なくない。

そういった、物流事業者、荷主に対して、豊富なノウハウを持つ同社では、実地棚卸の代行サービスの提案をしている。

「棚卸は、必要不可欠なものだが、自社で行う場合、手間や見えないコストもかかっている。そこを我々に投げてもらい、本来のコア業務に集中していただきたい。アウトソースすることによってト

アセットインベントリー

ータルコスト削減にも寄与できる。理屈で言えば入出庫の管理ができていれば、在庫は合うはずなのだが、なかなか上手く行っていないのが現状であり、そういった相談を数多く受けている。そのお手伝いができればと考えている」と話すのは同社の岸本安生執行役員。

「当社は専門のスタッフや棚卸専用機器など、ノウハウには自信を持っている。今後は、オンラインショップの物流センターなど部品倉庫、製品倉庫などの棚卸の提案を物流事業者、荷主に対して行ってみたい」（同）としている。

